



泳ぎを指導する伊藤さん[㊦]と参加した児童たち

楽しく泳ぎ上達目指す 小学生の水泳教室開催

8月3日、町スポーツ協会スポーツクラブ主催の小中学生水泳教室（全4回）が葛巻小学校屋内プールで開催され、町内の小学3年生から6年生の児童15人が参加しました。

講師は一戸町のNPOスポーツウェルネスの伊藤礼子さんで、「怖いと思ったら無理をしないこと」と、児童の泳ぎの技量に合わせた指導をしていました。初めは「水が怖い」と話していた児童も、遊びを交えた練習で徐々に水に慣れ、伊藤さんのアドバイスでみるみる上達していました。

消毒液の自動噴霧器 田向定雄さんが寄贈

盛岡市でいわて不動産(株)を営む本町出身の田向定雄さんが、8月4日町を訪れ、新型コロナウイルス感染症対策に活用する自動消毒噴霧器10台を寄贈しました。

田向さんは、これまでもフェイスシールドやマスクなどを寄贈し、町の感染症対策を何度も支援されています。触澤義美副町長は、「県内でも過去にない感染拡大が続き、児童生徒の感染防止対策の強化が急務となっている。小中学校で有効に活用させていただきます」と、田向さんに感謝の意を伝えました。



自動消毒噴霧器（円内）を贈呈する田向定雄さん[㊦]

夏の交通事故防止 ドライバーに啓発

8月10日、道の駅くずまき高原において、町交通安全対策協議会が「交通事故防止めざまし作戦」を行いました。

夏は暑さに加えて帰省や行楽などの長距離運転の疲れで、交通安全の意識が低下しやすくなります。交通指導隊員や交通安全母の会の会員らは、ドライバーに牛乳やパンフレットを配り安全運転を呼び掛けていました。交通指導隊長の緑川猛雄さんは「一瞬の脇見が事故につながります。スピードも控えめに」と事故防止に力を込めていました。



パンフレットを配り安全運転を呼び掛ける交通指導隊員



ワイン工場で鈴木町長の説明を聞く参加者

北海道・東北の首長 町の取り組みを視察

7月20日、21日の両日、全国山村振興連盟の北海道・東北六県ブロック会議が本町で開催され、各道県の加盟市町村を代表する首長や関係者ら15人が来町しました。

会議では、鈴木重男町長が「過疎や人口減少など厳しい状況だが、情報を共有し山村地域が元気になるような取り組みを話し合いましょう」とあいさつしました。現地視察では山村留学生寄宿舎やくずまきワイン、くずまき高原牧場を訪問し、首長らは地域資源を活かした町の特色ある施策に関心を寄せていました。

パラスリート講演 共生する社会を学ぶ

日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する「あすチャレ！ジュニアアカデミー」の出前講座が、7月21日に葛巻中学校（菊地正道校長、生徒54人）で開催されました。

講師の永尾由美さん（宮城県）は、ソウル1988パラリンピック陸上競技スラローム金メダリストで、自身のパラスリートとしての経験や車いす生活の様子を紹介しました。生徒たちはパラスポーツの魅力を知るとともに、障がいがある人の生活に理解を深め、互いに理解し合い共生する社会について学んだ様子でした。



生徒の質問に答える講師の永尾さん[㊦]

月3万円ビジネス 仲間とプラン磨く

7月24日、くずまき型DMO起業セミナー「月3万円のわたしごと」の第2回講座が新町の町家旧遠藤邸で開催され、受講生12人が参加しました。

講師は、空き店舗の活用などで地域の活性化に取り組む矢口真紀さん（埼玉県）で、「自分の得意なことで地域の困りごとを解決できれば、地域に必要とされる価値あるビジネスになる」と受講生に語り、ビジネスアイデアの作成をサポートしていました。受講生は仲間と意見を出し合い、自分のアイデアに磨きをかけていました。



アイデアセッションでアドバイスする矢口さん[㊦]と受講生